

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)福岡松島プロジェクト

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
		Q 建築物の環境品質				
Q1 室内環境						
1 音環境						
1.1 室内騒音レベル						
1.2 遮音						
1 開口部遮音性能						
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音						
2 温熱環境						
2.1 室温制御						
1 室温						
2 外皮性能						
3 ゾーン別制御性						
2.2 湿度制御						
2.3 空調方式						
3 光・視環境						
3.1 屋光利用						
1 屋光率						
2 方位別開口						
3 屋光利用設備						
3.2 グレア対策						
1 屋光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御						
4 空気質環境						
4.1 発生源対策						
1 化学汚染物質						
4.2 換気						
1 換気量						
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮						
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御						
Q2 サービス性能						
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ						
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画						
1.2 心理性・快適性						
1 広さ感・景観						
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画						
1.3 維持管理						
1 維持管理に配慮した設計						
2 維持管理用機能の確保						
2 耐用性・信頼性						
2.1 耐震・免震・制震・制振						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						
2 免震・制震・制振性能						
2.2 部品・部材の耐用年数						
1 躯体材料の耐用年数						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						
6 主要設備機器の更新必要間隔						
2.4 信頼性						
1 空調・換気設備						
2 給排水・衛生設備						
3 電気設備						
4 機械・配管支持方法						
5 通信・情報設備						
3 対応性・更新性						
3.1 空間のゆとり						
1 階高のゆとり						
2 空間の形状・自由さ						

3.2	荷重のゆとり		-	-	-	-	-
3.3	設備の更新性		-	-	-	-	-
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	-
2	給排水管の更新性		-	-	-	-	-
3	電気配線の更新性		-	-	-	-	-
4	通信配線の更新性		-	-	-	-	-
5	設備機器の更新性		-	-	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		-	-	-	-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	1.00	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.9
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	[BPi][BPIm] = 0.7	5.0	0.01	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.12	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEi][BEIm] = 0.46	5.0	0.62	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.25	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.7
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン、タイルカーペット、ビニル床シート	5.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	ALCフラットパネル	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.9	0.20	-	-	3.9
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない材料を4種以上仕様	5.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	押出法ホリスレンフォーム	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.7
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率:64%	4.4	0.33	-	-	4.4
2	地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
2.1	大気汚染防止	燃焼機器無し	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	荷捌きスペース確保、駐車スペース確保、進入口の明確化	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	近隣に過度な影響を及ぼさない様、適切な照度設計にて計画	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	